人に物事の価値を判断する事は出来ない：比較対照バイアス

比較対照バイアスとは、人は物事の価値を判断するが苦手であり、他の何かと比較しないと価値の判断が難しいと言う意味です。

例えば、千円分のギフトカードと高級そうなペンの好きな方を選べと言われた時、人はギフトカードを選びがちですが、千円分のギフトカードと高級そうなペン、安っぽいペンの中から好きな方を選べと言われれば、ペンを選びがちになるです。

これは、ペンを比較する事が出来て、さらに安っぽいペンと高級そうなペンの対照のおかげで、高級なペンがさらに選んだ人の中で価値を上げたと言うわけです。

例えば、就活の人事なら、知らず知らずに他の就活生と就活生を比べてしまうわけです。雑魚就活生の後の普通の就活生は、輝いて見えてしまうわけです。

比較対照バイアスを打破するためには、比較や対照を意識して、こんな認知バイアスがあるんだなと意識して、絶対的な価値、その人や物事だけを見て判断する目を養うように自己暗示し続けるか、比較対照が出来ないような仕組みを作るなどの方法があるでしょう。

最後に、逆に比較や対照が弱いと人は自分が破滅へ向かっているのに気が付かないのです。カエルを熱湯に入れるとカエルはすぐに飛び出しますが、ぬるま湯のゆっくりと加熱すると、カエルは気が付かない内に死を迎えるわけです。湯の中のカエルにならないように気を付けましょう。